

第 195 回幹事会議事録

日 時： 2012 年 1 月 30 日(月) 13:30~17:03

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室

参加者： 武田幹事長, 他 42 名

議 事：

1. 幹事長挨拶, ほか

(1) 平成 24 年度幹事選挙結果報告

・選挙結果が報告され承認された。

(2) 次期幹事長選挙

・候補者について紹介され, 次期幹事長が承認された。

(3) 次期幹事役職構成案について

・幹事役職構成案が原案通り認められた。

(4) 幹事自己紹介

・新旧全幹事が自己紹介を行った。

(5) 旅費交通費に関する説明

・日本光学会旅費交通費支給内規に基づいて注意点等が説明された。

2. 第 2 回常任幹事会議事録の確認

・原案が修正なく承認された。

3. 報告事項

3-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

・予算削減の効果があり執行率が予定を下回っていることが報告された。

・光学関連会合予定の記載に関する問題について報告され, 意見収集がなされた。

3-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

・投稿数は増加傾向にあるが掲載される論文数は増えていない状況であり, 掲載率が 50% を下回ったことが報告された。

・日本光学会会員からの投稿が増えるよう各幹事に依頼された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

・論文のダウンロード状況から, 海外では増えているが, 日本国内では減っている状況であることが報告された。

3-3. 講演会関連報告

(1) Optics & Photonics Japan 2011 結果報告

・総参加者数が 669 名, 講演件数が 352 件であったことが報告された。

・ベストプレゼンテーション賞受賞者について報告された。

(2) 第 45 回光学五学会関西支部連合講演会結果報告

・2012 年 1 月 28 日(土) にキャンパスプラザ京都で開催され, 参加人数が 85 名であったことが報告された。

(3) 平成 23 年度関西講演会結果報告

・2012 年 1 月 30 日(月) に開催されていることが報告された。

(4) 第 38 回冬期講習会結果報告

・2012 年 1 月 19 日(木), 20 日(金) に東京大学山上会館で開催され, 参加者数 85 名で 4 分の 3 程度が企業からの参加者であったことが報告された。

・過去の講習会の内容等の日本光学会ホームページ掲載やバックナンバーの電子化等が提案された。

(5) 平成 23 年度北海道地区学術講演会結果報告

・2012 年 1 月 6 日(金), 7 日(土) に北海道大学で開催され, 一般公演が 104 件(うち光学会 20 件)であったと報告された。

・参加登録者数は 175 名であり, 前年度比で 40 名程度増加していることが報告された。

(6) 中国四国支部合同講演会進捗報告

・2012 年 3 月の春季応用物理学会で開催される応物支部幹事会の際に, 正式な申し入れをする予定であることが報告された。

(7) 第 37 回光学シンポジウム進捗報告

・協賛依頼は光学関連 21 団体に行い, 1 件回答待ちであることが報告された。

・広報に関して, HP 掲載(11 月 19 日開始)や雑誌掲載等で行う予定であることが報告された。

(8) Optics & Photonics Japan 2012 進捗報告

・募集分野がわかりやすくなるように, プログラム委員会で検討していることが報告された。

・会場について契約を締結していることが報告された。

(9) 北陸信越講演会結果報告

・2011 年 12 月 21 日(水) に富山大学で開催され, 講演者 3 名, 参加者 34 名であったことが報告された。

(10) 第 7 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

・2012 年 2 月 24 日(金) に慶應義塾大学三田キャンパスで開催されることが報告された。

(11) カラーフォーラム進捗報告

・現段階で来年度の計画等が決まっていない状況である

ことが報告された。

3-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

・協賛依頼が1件あり、承認済みであることが報告された。

(2) 会員動静について

・59人減少であることが報告された。

(3) 収支計算書について

・平成24年1月末までの収支について報告された。

(4) 日本光学会ホームページについて

・アクセス傾向は以前と同様な傾向であることが報告された。

・ホームページ更新履歴について報告された。

・業務委託契約に関する追加費用について報告された。

(5) 光みらい奨励金報告

・奨励金採択者と審査経緯について報告された。

(6) 高野榮一光科学基金報告

・光設計研究グループ第49回研究会において基金設立記念パーティーを行い、高野氏ご遺族に対して日本光学会から感謝状を贈呈する予定であることが報告された。

・「光学」誌に高野榮一光科学基金が発足したことに關する謝意を掲載する予定であることが報告された。

(7) 国際協力担当幹事より報告

・応用物理学会とOSA, SPIE, OSKとのそれぞれの協定について報告された。

・OSAとの協定書については、前回から4.1, 4.2が一部変更されていることが報告された。

(8) 予算報告

・今年度は700万円程度の赤字であり、この分については積み立てで吸収していることが報告された。

(9) 国際協力支援金

・高野榮一光科学基金が発足したので従来の国際協力支援金と重複する部分が出てきたが、国際協力支援金は当面継続することが報告された。

(10) 応用物理学会将来ビジョンについて

・アカデミックロードマップの改訂版作成について報告された。

・今後のロードマップの策定方針について報告された。

4. 審議事項

4-1. 平成24年度活動年間計画

・平成24年度も基本的に今年度と同様な年間計画で実施される旨が報告された。

4-2. 行事参加割引券発行の件

・2012年度の行事参加割引券の発行が承認された。

4-3. 分科会A会員の会員番号の変更について

・変更案について説明され、案が承認された。

平成23年度日本光学会総会

平成23年度総会は2012年3月16日(金)に早稲田大学早稲田キャンパスにおいて開催され、まず武田幹事長より挨拶および今年度を振り返っての総括が示された。

・昨年3月11日の東日本大震災の影響で春の応物講演会が中止となり、そのため昨年度の総会は日を改めて、5月17日に東京の九段北ビルで開催された。また昨年度光学論文賞の表彰は、11月のOPJの会場において行われた。OPJのテーマは震災を受けて、「再生への道—光技術者が今できること—」とされた。また被災会員への会費の免除も行われた。改めて、被災された方々への光学会からのお見舞いの言葉が述べられた。

・応用物理学会が公益法人へと移行し、それに伴い以下の変更が行われた。(1) 光学会の保有する著作権や資産が応物学会の管理となった。(2) 外国学会(SPIE, OSK)との協定締結の組織が日本光学会から応用物理学会に移った。もともと応物学会と協定を締結していたOSAを含め、この3学会のMemorandum of Understandingの更新が今年度に行われ、草稿を光学会が作成し、応用物理学会理事会の承認を受け応用物理学会会長が署名人となった。このほかに、これまで日本光学会が主催してきた国際会議の主催組織名が応用物理学会に移された。公益法人化に伴うガバナンスの強化として国際関係の多くの事項が応物学会に移管されたが、このことによる日本光学会の活動の国際的な可視度の低下をいかに防ぐかが今後の課題である。

・応物学会事務局の移転とともに、光学会事務の所在地を九段下から湯島に移した。オフィスは応物学会事務局内に置かれている。九段で賃借していた光学会占有スペースは廃止し、会議室については応物学会に対価を支払うことにより応物学会の会議室の優先的な使用权を確保した。

・一昨年逝去された元光学会A会員の高野榮一氏のご遺志で、日本光学会に多大な寄付がなされた。日本光学会は法人格がないので応用物理学会を通じて寄付を受け入れ、それをもとに高野榮一光科学基金を発足させた。ご遺志にそって日本光学会の活動ならびに光設計研究グループの活動に役立てる基金とした。感謝の念を示すため、光設計研究グループが基金設立記念研

研究会とともに記念パーティーを開催した。ご遺族の方に、光学会から感謝状を、また光設計研究グループから、高野氏が生前設計されたズームレンズの光路図を入れたトロフィーを贈呈した。日本光学会の発展に結びつく、高野基金活用のアイデアやご意見を会員に求めて、幹事長の挨拶が終了した。

その後、宮武庶務幹事（総務）より平成 23 年度事業報告および平成 24 年度事業計画、野村会計幹事より平成 23 年度決算報告、上窪会計幹事より平成 24 年度予算案が提示された。

なお、日本光学会の平成 23 年度事業および平成 24 年度の計画などに関する情報は、第 41 巻第 7 号の「日本光学会平成 23 年度年次報告」に詳細が掲載される予定である。

第 3 回常任幹事会

2012 年 3 月 9 日(金)に、応用物理学会会議室(湯島)において開催されました。第 195 回幹事会議事録の確認、「光学」関連報告、「OPTICAL REVIEW」関連報告、第 37 回光学シンポジウム(2012. 6/14-15)進捗報告、Optics & Photonics Japan 2012 進捗報告、平成 23 年度関西講演会(2012. 1/30)結果報告、平成 23 年度名古屋講演会進捗報告、第 38 回冬期講習会(2012. 1/19-20)収支報告、第 7 回光応用新産業創出フォーラム(2012. 2/24)結果報告、中国四国支部合同講演会進捗報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、日本光学会ホームページ報告、高野榮一光科学基金報告、平成 23 年度日本光学会総会、平成 23 年度収支決算報告、研究グループ事業報告・事業計画、「Optics & Photonics Japan ベストプレゼンテーション賞」規定の改定、研究グループ補助金申請、応用物理学会への委員選出について、審議および報告がなされました。詳しい幹事会議事録は第 41 巻第 7 号に掲載予定です。

第 260 回「光学」編集委員会

2012 年 3 月 8 日(木)に応用物理学会会議室において開催されました。今回は新旧委員の合同での開催でした。最初に第 42 巻第 1, 4 号の企画決定、第 42 巻第 2, 3 号の第二次構想案、第 42 巻第 5, 6 号の第一次構想案の審議、第 42 巻第 7, 8 号の号担当の決定が行われました。また、途中で新旧委員の自己紹介が行われました。次に、書評進捗状況の報告、光科学及び光技術調査委員会(関東・関西)の活動状況が報告されました。その後、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。最後に発行日および別刷の取り扱いについて議論しました。

第 37 回光学シンポジウム

テーマ：「光学システム・光学素子の設計、製作、評価を中心として」

期 日：2012 年 6 月 14 日(木)、15 日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール(東京都目黒区駒場 4-6-1)

主 催：日本光学会

参加費：早期申込の場合、日本光学会会員 3,000 円、応物・協賛学協会会員・賛助会員 5,000 円、非会員(一般) 7,000 円、非会員(学生) 1,000 円。早期申込は 6 月 7 日(木)までの申し込みに限ります。通常申込の場合、日本光学会会員 4,000 円、応物・協賛学協会会員・賛助会員 6,000 円、非会員(一般) 8,000 円、非会員(学生) 1,000 円。日本光学会学生会員は早期・通常申込にかかわらず無料。

招待講演者(順不同・敬称略)：安藤貴真(パナソニック)、亀山俊平(三菱電機)、高本達也(シャープ)、鄭昌鎬(サンテック)、富田康生(電気通信大)、西垣順二(コニカミノルタプラネタリウム)、根岸一乃(慶応義塾大)、増村茂樹(シーシーエス)

申込方法：早期申込方法は、ホームページで登録後、銀行振込となります。

問合せ先：(株)ニコンコアテクノロジーセンター光技術研究所 瀧川雄一

〒140-8601 東京都品川区西大井 1-6-3

電話 03-3773-8296 E-mail: optsympo37@gmail.com

詳細は第 37 回光学シンポジウムホームページをご覧ください。

<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/symposium/index.shtml>

新入会員

個人会員

会員番号	氏名	所属
A 学 6103976	青木 洸平	北海道大学
学 6103974	渥美 諭	新潟大学
6103957	阿部 満孝	(株)トブコン
6103982	阿部 昇平	ソニーイーエムシーエス(株)
学 6103980	夏 鵬	京都工芸繊維大学
6103959	加地 正幸	(株)オーディオテクニカ
6103978	北村 成史	三菱レイヨン(株)
学 6103968	銀屋 真	徳島大学
6103981	後藤田 徹	(株)東芝
6103956	近藤 康寛	(株)エルモ社
学 6103975	山東 悠介	大阪府立産業技術総合研究所
学 6103972	清水 博亮	千葉大学
学 6103969	高野 壘	千葉大学
学 6103958	田中 翼	東京工業大学
6103977	富島 隆之	CBC(株)
学 6103973	豊田 彩織	千葉大学

学 6103970	馬場 佳織	千葉大学	58647	内海 淳志	舞鶴工業高等専門学校
学 6103971	細川 菜摘	千葉大学	65478	大館 暁	(株)ニコンコアテクノロジーセンター
6103965	巻田 修一	筑波大学	学 85867	岡村 悠紀	大阪府立大学
6103967	松下 英之	富士フイルムオブティクス(株)	54444	木下 健一	産業技術総合研究所
6103960	山形 直樹	HOYA(株)	学 85784	黒田 裕之	宇都宮大学
6103979	山村 明宏	(株)沖デジタルイメージング	学 84885	田内 宏直	東京大学
6103966	山本 健詞	情報通信研究機構	80305	中村崇市郎	富士フイルム(株)
B 学 85728	Thilakarathne BLS	埼玉大学	学 85739	橋本 文也	大阪大学
85153	Usman Anwar		学 85448	三上 俊彰	千葉大学
学 84851	有蘭 和真	立命館大学	85988	湯浅 譲	京セラミタ(株)
53227	生野 孝	(株)豊田中央研究所			

日本光学会 *news* の掲載申込先：

〒761-0396 高松市林町新町 2217-20 香川大学工学部知能機械システム工学科 石丸伊知郎
電話 087-864-2325 Fax 087-864-2369 E-mail: ishmaru@eng.kagawa-u.ac.jp

なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準(<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>)をご確認ください。

日本光学会平成24年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	渡辺 正信* (産総研)	
副幹事長：	伊藤 雅英* (筑波大)	菊田 久雄* (大阪府立大)
前幹事長：	武田 光夫 (宇都宮大)	
庶務幹事：	石橋 茂雄* (NTT)	伊藤 昌弘* (リコー)
	野村 博* (東芝)	内田 恒夫* (パナソニック)
	横田 正幸* (島根大)	山本 健詞* (情報通信研究機構)
	石丸伊知郎* (香川大)	小倉 裕介* (阪大)
	小川 賀代* (日本女子大)	松宮 一道* (東北大)
『光学』編集幹事：	川田 善正* (静岡大)	吉川 宣一 (埼玉大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	今井 洋* (茨城大)
国際協力幹事：	白井 智宏 (産総研)	安井 武史 (徳島大)
産学協力幹事：	渡部 一雄 (東芝)	鈴木 二郎 (三菱電機)
事業・企画担当幹事：	辻 俊彦 (キヤノン)	木村 伸司 (HOYA)
	瀧川 雄一 (ニコン)	福島 郁俊 (オリンパス)
	緒方 伸夫 (シャープ)	辻 健一郎 (防衛大)
	野口 一能 (コニカミノルタオプト)	原田 康浩 (北見工大)
	四方 潤一 (日大)	中嶋 芳雄 (富山大)
	明田川正人 (長岡技術大)	富木 政宏 (静岡大)
	似内 映之 (和歌山大)	仁田 功一 (神戸大)
	原口 雅宣 (徳島大)	鈴木 恵友 (九州工大)